

Dīpaṃkaraśrījñāna と六字真言

望月 海慧

はじめに

チベット文字で六文字からなる om maṇi padme hūṃ は、観自在のマントラとして知られているだけでなく、チベット巡礼者が唱えるマントラとしても一般に広く知られている¹。もちろん、この六字真言はインドに由来するものであり、インドの言葉で記しても六文字からなる。その典拠は、観自在の説話を説く大乘經典の *Kāraṇḍavyūhasūtra* とされている²。このマントラは、東アジアにおいても観自在信仰とともに広く受け入れられてきた³。

この大乘經典で説かれた六字からなるマントラが後の密教において成就法として採用されるようになり⁴、チベット大蔵経にもその成就法に関連する文献を複数見ることができる。これらの文献は一般に知られた短い成就法を説く文献であるために、それらの内容は、どれもほぼ類似した内容である。

これらの文献の中に、Dīpaṃkaraśrījñāna に関係するものを二つ見ることができる。すなわち、彼が著したものと、彼が翻訳をした Pūjavajra のものである。同じ内容の二つの文献が、一方では著書として伝承されており、他方では翻訳書として伝承されたことになる。本稿では、この二つの文献を中心に、Dīpaṃkaraśrījñāna と六字真言の関係を考察する。

¹ 同マントラはチベットや東アジアだけでなく、東南アジアの碑文にも確認されている。Cf. Skilling 2003.

² Studholme 2002 は六字真言の起源としてシヴァ派の五字真言である namaḥ śivāya と彼らの *Skandhapurāṇa* に言及する。

³ 漢文の関連文献については、木村 1987 が詳しい。そこでは、『請観世音菩薩消伏毒害陀羅尼經』(T. No. 1043)、『六字呪王經』(T. No. 1044)、『六字神呪王經』(T. No. 1045a)、『六字神呪王經別本』(T. No. 1045b)、『六字大陀羅尼呪經』(T. No. 1046)、、『聖六字大明王陀羅尼經』(T. No. 1047)、『聖六字増寿大明陀羅尼經』(T. No. 1049)、『文殊師利菩薩六字呪効能法經』(T. No. 1079)、『六字神呪經』(T. No. 1080)に、『大乘莊嚴寶王經』(T. No. 1050)と『摩登伽經』(T. No. 1300)が加えられている。

⁴ 成就法の具体的な内容については、佐久間 2011: 201-230 を参照。

1. 六文真言成就法文献

チベット大蔵経には、六字大明呪として知られるマントラ⁵とともに、六字真言の成就法に関連する次の 11 の文献を確認することができる。

1. *Āryalokeśvaraṣaḍakṣarasādhana* ('Phags pa 'Jig rten dbang phyug yi ge drug pa'i sgrub thabs). Nārgārjuna, Tr. Padma, rGyal ba mchog dbyangs. D. No. 2736, Nu 122b1-123b7, P. No. 3556, Nyu 138a4-139b6. See Makidono 2011.
2. **Śrīlokanāthaṣaḍakṣarasādhana* (dPal 'Jig rten mgon po yi ge drug pa'i sgrub thabs). D. No. 2747, Nu 130a3-130b2, P. No. 3568, Nyu 147b3-148a4.
3. *Ṣaḍakṣaratantrakramamaṇḍalacakropadeśasādhana* (Yi ge drug pa'i rgyud kyi rim pas dkyil 'khor lo bstan pa'i sgrub thabs). Tr. Mahājana, gZhon nu 'od. D. No. 2851, Nu 192a1-194a2, P. No. 3672, Nyu 223b1-225b8.
4. *Āryaṣaḍakṣarasādhana* ('Phags pa Yi ge drug pa'i sgrub thabs). A. Pūjavajra, Tr. Dīpaṃkaraśrījñāna, Śākya blo gros. D. No. 2853, Nu 195a1-195b5, P. No. 3674, Nyu 227a2-b8, Sakuma 2002: 197-198.
5. *Ṣaḍakṣarasādhana* (Yi ge drug pa'i sgrub thabs). Tr. Tshul khriims rgyal mtshan. D. No. 3150, Phu 173b2-174b1, P. No. 3971, Thu 214a2-215a5, Sakuma 2002: 191-192.
6. *Ṣaḍakṣarasādhana* (Yi ge drug pa'i sgrub thabs). Tr. Tshul khriims rgyal mtshan. D. No. 3151, Phu 174b1-175a3, P. No. 3972, Thu 215a5-216a1, Sakuma 2002: 203-204.
7. *Āryāvalokiteśvaraṣaḍakṣarīśādhana* ('Phags pa sPyan ras gzigs dbang phyug gi yi ge drug ma'i sgrub thabs). A. Śrī Sahajalalita (dPal lHan cig skyes pa'i rol pa), Tr. Don yod rdo rje, Ba ri lo tsa ba. D. No. 3332, Mu 24b7-25b4, P. No. 4153, Du 30b7-31b8, Sakuma 2002: 193-194.
8. *Āryaṣaḍakṣarīmahāvidyāsādhana* ('Phags pa Yi ge drug pa rig pa chen po'i sgrub thabs). A. Śrī Sahajalalita (dPal lHan cig skyes pa'i rol pa), Tr. Grags pa rgyal mtshan. D. No. 3405, Mu 70b1-71a6, P. No. 4226, Du 89b2-90b4, Sakuma 2002: 195-196.

⁵ *Āryaṣaḍakṣaravidyā* ('Phags pa Yi ge drug pa'i rigs sngags). D. Nos. 575, Pha 202a3-202b5, 917, E 261a5-262a2, P. Nos. 313, Ba 87a5-87b8, 542 'A 258a2-258b5.

9. *Ṣaḍakṣarīsādhana* (*Yi ge drug ma'i sgrub thabs*). Tr. Grags pa rgyal mtshan. D. No. 3406, Mu 71a6-72b1, P. No. 4227, Du 90b4-92a4, Sakuma 2002: 200-202.
10. *Ṣaḍakṣarīsādhana* (*Yi ge drug pa'i sgrub thabs*). D. No. 3408, Mu 72b5-73b1, P. No. 4229, Du 92b1-93a8, Sakuma 2002: 205-206.
11. *Āryaṣaḍakṣarīsādhana* (*'Phags pa Yi ge drug pa'i sgrub thabs*). A. Śrī Dīpaṃkara (dPal mar me mdzad). P. No. 4839, Zu 122b2-123a7, Sakuma 2002: 199.

これらの文献のうち、著者名が付されているものは、1の Nārgārjuna と 4の Pūjavajra と 7の Śrī Sahajalalita⁶と 11の Śrī Dīpaṃkara の 4書である。ただし、Pūjavajra の名前はチベット大蔵経では他に確認できず、Dīpaṃkara についても Dīpaṃkaraśrījñāna ではない可能性もある⁷。残りの 7書については著者名が付されていない。

また、サンスクリット文献としては、Abhayākara Gupta の *Sādhnamālā* に次のものを確認できる。

12. *Āryaṣaḍakṣarīmahāvīdyāsādhana*. Bhattacharyya 1925: 26-28, Sakuma 2002: 65-69.
13. *Ṣaḍakṣarīlokeśvarasādhana* (*Kāraṇḍavyūhāmnāyena racitaṃ sādhanam*). Bhattacharyya 1925: 28-30, Sakuma 2002: 70-75.
14. *Āryaṣaḍakṣarīmahāvīdyālokitēśvarabhaṭṭārakopadeśaparamparāyātasādhanavidhi*. Bhattacharyya 1925: 34-35, Sakuma 2002: 76-78.
15. **Ṣaḍakṣarīsādhana*. Bhattacharyya 1925: 36, Sakuma 2002: 79⁸.

佐久間留理子は、これらのサンスクリット文献とチベット語訳との関係を明らかにし、サンスクリットの 12 をチベット語訳の 4, 5, 7, 8, 11 と、サンスクリットの 13

⁶ 大谷目録によると、彼の名前は他に Nos. 2444: *Hevajratantrakrameṇa svādhiṣṭhānakurulullāsādhana*, 2576: *Tārāmaṇḍalasādhanavidhi*, 3512: *Samantamukhapraveśaraśmivimaloṣṇīṣaprabhāsa-sarvatathāgatahrdayasamayavilokitadhāraṇīvr̥tti*, 4151 (4155, 4242): *Hālāhalasādhana*, 4153: *Avalokiteśvarasya ṣaḍakṣarīsādhana*, 4165 (4351): *Uḍḍiyānamāricīsādhana*, 4389: *Kurukullāsādhana*, 4842: *Amoghapāśasādhana* に見ることができる。

⁷ ただし、表紙には Dīpaṃkaraśrījñāna の呼称である「尊者(Jo bo)の典籍」と記されている。

⁸ Sakuma 2002: 207-208 は、対応するチベット語文献として *Upadeśaviṣeśasādhana* (*gDams ngag gi khyad par*. Tr. Tshul khriṃs rgyal mtshan. D. 3152, Phu 175a4-6, No. P. No. 3973, Thu 216a1-5) を指摘する。

をチベット語訳の 9 と、サンスクリットの 14 をチベット語訳の 6, 10 と対応させる⁹。ただし、佐久間が指摘するように、これらのチベット語訳のそれぞれには多少の相違があるが、それぞれのサンスクリットはそれぞれのグループのチベット語訳のいずれかの原典であろう。

以上、六字真言成就法に関する文献に就いて、チベット語訳に 12 文献、サンスクリットに 4 文献を確認することができた。もちろん、これらがすべてという訳ではないが、チベット語訳に六字真言成就法の文献を複数見ることができ、すでに指摘されているように、そのいくつかは内容が同じである。ある程度定まった成就法の次第を紹介する文献であるので、その内容が類似しているのは当然であろうが、チベット語訳では複数の著者に帰せられている。このことは、一般的な成就法として特定の著者を立てない伝承と特定の者に由来する伝承とがあり、それぞれが異なる伝播を経てチベット語に翻訳されたことを示している。

2. *Dīpaṃkaraśrījñāna* の著作における六文真言の用例

次に、*Dīpaṃkaraśrījñāna* における六字真言の用例を見てみる。まず、前出の *Āryaśaḍakṣarīsādhana* は、六字真言成就法の次第を説明する文献であり、観自在の観想の後に、次のように述べられる。

そのように修習してから、その次に世自在の御心の月輪から数珠を同じように廻し、御口から生じて、臍に入って、輪の在り方で一切の仏の方便を如意宝のように理解するこのマントラの王を無相の在り方で唱えるべきである。それから身体の動きなどをともなうようになったヨーガ行者は信と悲と師への尊敬をともなうことでいずれそのうちに成立するであろう。om maṇi [宝石を保持する心髄] padme hūṃ とそのように唱える¹⁰。

⁹ Sakuma 2002: 161. 佐久間 2011: 340-347 には、サンスクリットの和訳とともに、注記においてチベット語訳の諸版との異同も示している。

¹⁰ de ltar bsgoms nas de'i 'og tu 'jig rten dbang phyug gi thugs ka'i zla ba'i dkyil 'khor las phreng ba 'dra ba skor / zhal nas phyung zhing lte bar zhugs te 'khor lo'i tshul gyis sangs rgyas thams cad kyi thabs yid bzhin gyi nor bu lta bur rtogs pa sngags kyi rgyal po 'di mtshan ma med pa'i tshul gyis zla bar bya'o // de nas lus g-yo ba dang bcas par gyur pa la sogs par 'gyur ba'i rnal 'byor pa dad pa dang / snying rje dang / bla ma la gus pa dang ldan pas ni ring por mi thogs par 'gyur ro // om ma [nor bu 'dzin pa'i snying po] ṅi padme hūṃ zhes de ltar bzlas so // de nas ldang ba'i dus su yang sngags brjod par bya'o // yi ge brgya pa brjod par bya'o // de ltar bzlas nas ci bder gnas par bya'o //

ここでは、世自在の観想の後にそのマントラとして六字真言を唱えることが述べられている。

次に、六字真言成就法と同じく、観自在成就法を説く空行世自在¹¹の成就法 *Āryalokeśvarakhasarpaṇasādhana* において、三宝帰依や懺悔などの前行に続いて法無我の観想などを述べた後に、次のように述べられている。

修習で疲れたならば、自分の心臓の月輪の上に真言を真珠の数珠に似たものを観想して唱えるべきである。唱える真言は、こうである。すなわち、om maṇi padme hūṃ を百回か千回唱えるべきで、世尊に対して自分自身で供養を上手くなすべきである¹²。

ここでも前書と同じく、世自在の観想の後に、そのマントラである六字真言を唱えることが述べられている。以上の二書は観自在の成就法を説く著書であり、六字真言が観自在との関係で言及されている。

また、この二書の他に、秘密集会タントラ関連文献にも六字真言を確認できる¹³。まず、*Śrīguhyasamājalokiteśvarasādhana* では、次のように述べられている。

それから修習により厭うならば、九文字である智慧薩埵の胸元の種子を完全に廻して、とどまって唱えるべきである。om āḥ om maṇi padme hūṃ hūṃ というマントラを唱え、身と語と意のそれぞれの金剛や意金剛の本質をもつものと智慧薩埵とその身語意金剛と智慧薩埵と一緒に五つの本質をもつことを観想し¹⁴、

¹¹ 空行世自在については、佐久間 2011: 107-116 を参照。

¹² *'Phags pa sPyan ras gzigs dbang phyug gi sgrub thabs* (D. No. 2851, Nu 194b4-5, P. No. 3673, Nyu 226b4-5): bsgoms pas dub par gyur na / rang gi snying ga'i zla ba'i dkyil 'khor gyi steng du sngags mu tig gi phreng ba dang 'dra ba bsams te bzlas par bya'o // bzlas pa'i sngags ni 'di yin te / om ma ni padme hūṃ / brgya 'am stong du bzlas par bya ste / bcom ldan 'das la bdag nyid kyis mchod pa legs par bya'o //

¹³ 望月 2011, 2012 参照。

¹⁴ *dPal gSang ba 'dus pa 'jig rten dbang phyug gi bsgrub pa'i thabs* (D. No. 1892, Pi 230b3-5, P. No. 2756, Thi 276b3-6): de nas bsgoms pas skyo na / yi ge dgu po ye shes sems dpa'i thugs ka'i sa bon yongs su bskor te gnas pa la bzlas brjod bya'o // om āḥ om ma ni padme hūṃ hūṃ / zhes bya ba'i sngags zlos shing sku dang gsung dang thugs rdo rje re re zhing ngam thugs rdo rje'i bdag nyid can dang ye shes sems dpa' dang de'i sku dang gsung dang thugs rdo rje dang / ye shes sems dpa' dang lhan cig lnga po'i bdag nyid can bsams la /. Cf. 望月 2012: 105.

ここでは、六字真言が述べられているものの、前後に *om āḥ hūṃ* の三文字を加えた九字からなるマントラである。同じく、*Āryāvalokiteśvarasādhana* においても、次のように述べられている。

それから広がるようになれば、智慧薩埵の胸元の種子を *om āḥ om maṇi padme hūṃ hūṃ hrīḥ svāhā* と言ひ、左廻りに飾り、教説の通りに修習すべきである¹⁵。

ここでは、上記の九字にさらに *hrīḥ svāhā* を加えているが、前書と同じく、六字真言の前後に、*om āḥ hūṃ* の三文字を加えたヴァリエーションである。

彼のその他の著作には、六字真言への言及を見ることはできず、その用例が見られる文献はいずれもが観自在の成就法である。ただし、*Guhyasamāja* 関連の文献では六字に三文字加えたものとなっているが、その由来については後述する。

3. *Dīpaṃkaraśrījñāna* の伝記資料における六字真言への言及

次に、*Dīpaṃkaraśrījñāna* の伝記資料において、彼と六字真言の関係がどのように伝えられているのかを見てみる。まず、*rNam par rgyas pa* では、六文字真言が五箇所において言及されている。最初のもは、ガリからツェンに向かうところで、次のように述べられている。

293: 尊者に甚深なる守護を一つお願いするので *maṇi padme* を説かれた。善知識の *sTon pa* が簡単に大きな加持を一つお願いするので六字と 11 面を説いた¹⁶。

ここでは弟子となる '*Brom ston pa* の請願により、六字真言が 11 面の観自在と関連して説かれたことが伝えられている。

続いて、ニェタンにおいて '*Brom ston pa* らの請願により **Avalokiteśvara-*

¹⁵ '*Phags pa sPyan ras gzigs 'jig rten dbang phyug sgrub pa'i thabs* (D. No. 1893, Pi 232b2-3, P. No. 2757, Thi 278b3-279a4): *de nas spro bar gyur na ye shes sems dpa'i thugs ka'i sa bon la / om āḥ om ma ni padme hūṃ hūṃ hrīḥ svāhā / zhes bya ba g-yon skor du bkod de / man ngag ji lta ba bzhin du bsgom par bya'o //*. Cf. 望月 2012:

¹⁶ Eimer 1979, T. 2: 239-240: *Jo bo bsrung ba zab pa cig zhu zhus pas ma ni padme gsung / dge bshes sTon pas sla la byin rlabs che ba cig zhus pas yi ge drug pa dang zhal bcu gcig pa gsungs /*

nāmāṣṭottaraśatasūtra (*sPyan ras gzigs dbang phyug gi mtshan brgya rtsa brgyad pa'i mdo*) などを翻訳したことに続いて、次のように述べられている。

377: それから 'Brom ston pa と Phyag khri mchog と bTsun pa dGe ba skyong たちがお願いしてから *Lokiteśvarasādhana* と軌範師 Nāgārjuna が著した *Khasarpaṇi* と *Ṣaḍakṣara* と *Simhanādasādhana* と Ānandarabha が著した *Trailokyavijaya-sādhana*¹⁷ を師自らと翻訳官の二人が翻訳した¹⁸。

このうち、最初のもは前出の *Dīpaṃkaraśrījñāna* の *Āryalokeśvarakhasarpaṇasādhana* であろうか。続く Nāgārjuna に帰せられる空行、六字¹⁹、獅子吼の成就法と Ānandarabha に帰せられる三界制御の成就のいずれもが観自在のさまざまなタイプを示すものである²⁰。これらの成就法を *Dīpaṃkaraśrījñāna* が翻訳したのかについては、検討の余地があるが、ここでも 'Brom ston pa と関連して六文真言を含む観自在の成就法が述べられている。

さらに、弟子たちについて述べる箇所では、次のように述べられている。

405: 善知識である翻訳官は、チベットの偉大な師たちも尊者と違いはないと把握しており、尊者のそれらの法を心で知らない者は一人もおらず、なされたことも矛盾はなく、Mañjuvajra と Tārā と六字のお顔を見られた²¹。

ここでは、六字真言の語が尊格と並んで述べられており、「六字のお顔」とは観自

¹⁷ *Trailokyavijayanāmavṛtti* ('*Jig rten gsum las rnam par rgyal ba zhes bya ba'i 'grel pa*). *Trailokyavijayamaṇḍalavidhyāryatattvasamgrahatanroddhṛtā* (*Khams gsum rnam par rgyal ba'i dkyil 'khor gyi cho ga 'phags pa de kho na nyid bsdu pa'i rgyud las btus pa*). Tib. D. 2519, Ku 67a3-110a4.

¹⁸ Eimer 1979, T. 2: 318-319: de nas 'Brom ston pa dang / Phyag khri mchog dang / bTsun pa dGe ba skyong rnams kyis zhus nas / '*Jig rten dbang phyug gi sgrub thabs* / slob dpon Klu sgrub kyis mdzad pa *Khar sar pa ṅi dang* / *Yi ge drug pa dang* / *Seng ge sgra'i sgrub thabs dang* / slob dpon Kun dga' snying pos mdzad pa'i '*Jig rten gsum las rnam par rgyal ba'i sgrub thabs* rnams bla ma nyid dang lo tsā ba gnyis kyis bsgyur ro //

¹⁹ 前出の *Āryalokeśvaraṣaḍakṣarasādhana* とも考えられるが、訳者は Padma と rGyal ba mchog dbyangs である。

²⁰ 佐久間 2011: 101-102.

²¹ Eimer 1979, T. 2: 346: dge bshes lo tsā ba ni bod kyi ston chen rnams kyis kayng Jo bo dang khyad par med du 'dzin / Jo bo'i chos de rnams la khong gis mi mkhyen pa gcig kyang med byas kyang mi 'gal / 'Jam pa'i rdo rje dang sGrol ma dang Yi ge drug pa'i zhal gzigs /

在のことであろう。同じ用例は、続く箇所にも述べられている。

407: 瑜伽師である *Shes rab rdo rje* は、総じて尊者の多くの法を知っており、特に成就法を完成し、六字の顔を見る神変も得たと言われている²²。

また、弟子たちに与えられたものを述べたところで次のように述べられている。

414: 偉大な瑜伽師に三人の瑜伽師の相承された六字を与えた²³。

ここでは、さまざまな物が述べられており、六字とは観自在の像などであろう²⁴。

次に、チベットの歴史書である *Deb ther sngon po* におけるカダム派の章において、前述の秘密集会タントラ関連文献と六字真言との関係に対する言及を見ることができる。

Lha btsun pa が「我は『秘密集会タントラ』を信解しているので、尊として観自在を信解していますが」と述べたので、*Jñānapāda* 流の『秘密集会』のマンダラの主尊を世自在になされた現観と、マントラとして三文字と加えた *maṇi padme* を導くそれと、マンダラの賞讃をなしたものであり、マンダラの集会の灌頂は『四百五十』と同じように現れており、その流儀はすべての智者に知られるようになった²⁵。

このうち、世自在の現観と三文字を加えたものが前述の *Śrīgūhyasamājalokiteśvara-*

²² Eimer 1979, T. 2: 347: *rnal 'byor pa Shes rab rdo rjes spyir jo bo'i chos mang du mkhyen yang khyad par du sgrub thabs la rtsal thon / Yi ge drug pa'i zhal gzigs rdzu 'phrul yang thob skad /*

²³ Eimer 1979, T. 2: 354-355: *rnal 'byor pa chen po la rnal 'byor pa gsum gyi gdung rab mdzad pa'i Yi ge drug pa cig phul /*

²⁴ Eimer (Eimer 1973, T. 1: 293)は、「図像(Bild)」とする。

²⁵ *Deb ther sngon po*, p. 307: *Lha btsun pas / kho bo rgyud gSang ba 'dus pa la mos / lha sPyan ras gzigs la mos lags na / zhes zhus pas / Ye shes zhabs lugs kyi gSang ba 'dus pa'i dkyil 'khor gyi gtso bo 'jig rten dbang phyug gis mdzad pa'i mngon par rtogs pa / sngags su yi ge gsum dang spel ba'i ma ṅi padme 'dren pa de dang / dkyil 'khor gyi bstod pa zhig mdzad / dkyil 'khor de la brten pa'i 'dus pa'i dbang bskur bzhi brgya lnga bcu pa dang mthun par snang ste / lugs de ni mkhas pa thams cad la grags par gyur to //*. Cf. 羽田野 1986: 78-79, Roerich: 250-251.

sādhana と Āryāvalokiteśvarasādhana に相当し、最後の賞讃は Śrīguhyasamājastotra²⁶ に相当する。これらの三つの著作は『秘密集会タントラ』と観自在を関連づけるために著されたものであり、それを結びつける媒介となったものが六字真言である。

4. Dīpaṃkaraśrījñāna の著作と Pūjavajra の著作の比較

前述のように、チベット大蔵経所収の六字真言文献はいずれもが類似した内容であるが、ここではその翻訳者²⁷に Dīpaṃkaraśrījñāna の名前を確認できる Pūjavajra の Āryaśaḍakṣarasādhana (= P) と、Dīpaṃkara の名前をその著作²⁸に確認できる Āryaśaḍakṣarīsādhana (= D) を取り上げ、その相違を分析する。この二つのテキストは、同じタイトルであるだけでなく、その内容もほぼ同じである。短い文献であるだけでなく、特定の成就法を伝える文献であるので、その内容が同一であることは自然である。

両者を比較する前に、その内容を簡単にまとめると、①観想準備と三宝帰依、②衆生救済の誓願、③空性の修習、④煩惱の浄化、⑤世自在の観想、⑥加持、⑦世自在のマントラ、⑧百字のマントラ、となる。この区分に従って、両者の相違点を見てみる。まず、①において D の「集まる限りの衆生(sems can ji snyed bsdu bas)」が、P では「衆生として集まる限りの衆生(sems can ji snyed sems can du bsdu bas)」と「衆生」を二度繰り返しており、D の「衆生たちの界に考察される(sems can rnam gyi khams su rtogs pa)」が P では「衆生たちは三界に縛られているので(sems can ni khams gsum du gdags pas)」と「界」が「三界」となっている。③のマントラでは、D の śuddha が P では viśuddha となっている。⑤の世自在の身体について、D の「白の一面四手(dkar po zhal gcig phyag bzhi pa)」が P では「一面」を欠いており、⑦の D の「最初の二手(phyag dang po gnyis)」が P では「他の二つ(gzhan gnyis)」となり、D の「身体の色と手の特徴(sku mdog phyag mtshan)」が、P では「特徴」を欠、D の

²⁶ dPal gSang ba 'dus pa'i bstod pa. D. No. 1894, Pi 233a4-b7, P. No. 2758, Thi 279a-280a8.

²⁷ チベット語訳の共訳者として Śākya blo gros の名前があげられている。チベット大蔵経の大谷目録によると彼の翻訳文献は 18 あり、そのうち 1. Bodhisattvaprātimokṣacatuṣukanirhārasūtra (P. No. 914), 2. Samādhisambhāraparivarta (P. Nos. 3288, 5398), 3. Lokāṭītasaptāṅgavidhi (A. P. No. 3289), 4. Āryalokeśvarakṣarasarphaṇasādhana (P. No. 3673), 5. Āryaśaḍakṣarasādhana の 5 書が Dīpaṃkaraśrījñāna との共訳であり、2, 3, 4 の 3 書は Dīpaṃkaraśrījñāna 自身の著作である。また、4 は 5 の本論と同じく観自在の成就法である。

²⁸ コロフォンには、Dīpaṃkara としかないので、Dīpaṃkaraśrījñāna ではない可能性もある。

「数珠に似たものを廻し(phreng ba 'dra skor)」が、P では「数珠に似た白いものを(phreng ba 'dra dkar po)」と「廻す(skor)」が「白い(dkar po)」となっており、D の「仏の方便(sangs rgyas kyi thabs)」が P では「方便(thabs)」を欠いている。⑧の百字のマントラでは、D の「百字を述べるべきである」が、P ではこの句を欠く代わりに D では述べられないマントラが述べられている。この他にも小さな相違はさらにあるが、それらは格や文末語などの表現の相違でしかない。

これらの相違が両者関係を考察すると、異なる点は語の欠落程度のものであり、両者は同一内容の文献と言える。ただし、一方の末尾に百字真言の欠落があるので、異なる伝承をもつものとなる。また、両者の相違を見ると、「廻す」と「白い」の相違や語の欠落はチベット語に訳された後に生じたものであるように思える。

まとめ

最後に、*Āryaśadaḥṣarīsādhana* を著した *Dīpaṃkara* が *Dīpaṃkaraśrījñāna* であるとした上で、彼が著したものと翻訳したものの二つのテキストについて考えてみる。まず、両者に細かな相違があることから、両者は異なる時期に翻訳されたことになる。次に、P の翻訳の時点で彼がその著者を *Pūjavajra* と認識していたのならば、彼はこの成就法を他者の手によるものと認識していたことになる。一方、D にはその著述場所 *Yer pa* が記されており、彼がそ地で成就法を伝えたことになる。しかしながら、どちらかの著者性が誤りであるという判断はできず、断定できることは、彼に関連する成就法に二つの異なる伝承があったということだけである。それ故に、よく知られた成就法に複数の伝承があり、そのうちの 하나가 *Dīpaṃkaraśrījñāna* の著述として伝わり、一つが彼の翻訳としてテンギェルに収録されたのであろう²⁹。

また、彼の六字真言の用例としては、観自在のマントラとして言及されており、伝記では観自在そのものとしても使用されている。

関連テキスト

I. *Dīpaṃkaraśrījñāna* の『聖六字成就法』和訳

尊者の典籍に入る。

²⁹ ただし、前者は CD には収録されていない。

インドの言葉で、*Āryaṣaḍakṣarīsādhana*

チベットの言葉で、『聖六字成就法』

世間主に敬礼する。

最初にまず真言行者は顔を洗ってから快い座に座って、仏などを観想し、帰依などをなすべきである。「私は三宝に帰依します」と信解をなし、集まる限りの衆生を正しく集めて、「卵生や、胎生や、湿生や、化生、有色や、無色や、有想や、無想や、非想非非想と言ったあらゆる限りの衆生の界に考察されるそれらのすべてが、自分で蘊が余ることのない界に行くべきである」と観想し、それから *oṃ svabhāva śuddhaḥ sarvadharmāḥ svabhāva viśuddho 'ham* そのように空性を集めることだけを修習し、その次に自分の心臓に月輪を、その上に *hrīḥ* の文字から数百千の光を修習し、また、同じことにより無始より集めた貪欲などの煩惱を残らずすべて浄化してから自分自身の心臓に入れてから、自分自身が世自在の身体のすべての飾りにより飾られ、身体は白色の一面四手で、右に数珠を、左に蓮華を持ち、最初の二手は胸で合掌している。右に宝石を持ち、身体の色と手の特徴などはそれと同じで、左に六音節の大明呪で、四手は秋の雲の如くである。

それから *oṃ mahāsukha vajrasattva / a la la la la hoḥ // āḥ āḥ āḥ āḥ* と言うことでこの加持のマントラの王を述べるべきである。

そのように修習してから、その次に世自在の御心の月輪から数珠に似たものを廻し、御口から生じて、臍に入って、輪の在り方で一切の仏の方便を如意宝のように理解するこのマントラの王を無相の在り方で唱えるべきである。それから身体の動きなどをともなうようになったヨーガ行者は信と悲と師への尊敬をともなうことでいずれそのうちに成立するであろう。*oṃ maṇi* [宝石を保持する心髄] *padme hūṃ* とそのように唱える。

それから起きた時にもマントラを唱えるべきである。百字を述べるべきである。そのように唱えてから何れかの楽にとどまるべきである。

『六字成就法』偉大な軌範師 *Śrī Dīpaṃkara* による著作を完成する。

一天の尊者が吉祥なる *Yer pa* で著した。

II. *Dīpaṃkaraśrījñāna* の *Āryaṣaḍakṣarīsādhana*

(G. Zu 151a-152b1, N. Zu 118a4-119a1, P. No. 4839, Zu 122b2-123a7)

Jo bo'i gzhung bzhugs so³⁰ // //

(G. 151b) rgya gar skad du / *Ārya Śa ṭa*³¹ *kṣa ra sā dha nam* /

bod skad du / *Phags pa Yi ge drug pa'i sgrub thabs* /

'jig rten mgon po la phyag 'tshal lo //

dang po re zhig sngags pas gdong bkrus nas stan bde ba la 'dug ste / sangs rgyas la sogs pa bsams³² la skyabs su³³ 'gro ba la sogs pa bya'o // bdag ni dkon mchog gsum la skyabs su³⁴ song ba yin no // zhes mos par byas la / sems can ji snyed bsdu bas yang dag par bsdu pa / sgo nga las skyes pa 'am / mngal las skyes pa 'am / drod bsher las skyes pa 'am / brdzus te skyes pa 'am / gzugs can nam / gzugs can ma yin pa 'am / 'du shes can nam / 'du shes med pa 'am / 'du shes yod min med min te / ji srid du sems can rnam gyi kham su³⁵ rtogs pa de dag thams cad / bdag gis phung po lhag ma med pa'i dbyings su³⁶ dgod par bya'o // zhes bsams la / de nas om swa bhā wa³⁷ shuddha sarba dharmā³⁸ swa bhā wa (N. 118b) shuddhony ham / de ltar stong pa nyid du bsdu tsam gyis bsgoms la / de'i 'og tu rang gi snying gar zla ba'i dkyil 'khor / de'i steng du yi ge hrīḥ las 'od zer brgya stong du ma bsgoms te / yang de nyid kyis thog ma med pa nas bsags pa'i 'dod chags la sogs pa nyon mongs pa ma lus pa thams cad rnam par dag par byas nas bdag nyid kyī³⁹ snying gar zhugs⁴⁰ pa las / bdag nyid 'jig rten dbang phyug gi sku rgyan (G. 152a) thams cad kyis brgyan pa / sku mdog (P. 123a) dkar po zhal gcig phyag bzhi pa / g-yas na phreng ba / g-yon pa na padma bsams pa / phyag dang po gnyis kyis thugs kar thal mo sbyar ba'o // g-yas su⁴¹ nor bu 'dzin pa sku mdog phyag mtshan la sogs pa de dang 'dra / g-yon du⁴² 'bru drug ma rig sngags chen mo phyag bzhi ma ston ka'i sprin lta bu'o // om ma hā su kha badzra sa

³⁰ GN om. bzhugs so.

³¹ N: ta.

³² N: bsamus.

³³ GN: skyabsu.

³⁴ GN: skyabsu.

³⁵ GN: kham su.

³⁶ GN: dbyingsu.

³⁷ G: ba.

³⁸ P: dharmā.

³⁹ P om. kyī.

⁴⁰ P: bzhugs.

⁴¹ G: g-yasu.

⁴² P: du dang po.

twā / a la la la la⁴³ hoḥ // aḥ aḥ aḥ aḥ zhes bya bas byin gyis brlabs pa'i sngags kyi rgyal po
'di brjod par bya'o //

de ltar bsgoms nas de'i 'og tu 'jig rten dbang phyug gi thugs ka'i zla ba'i dkyil 'khor las
phreng ba 'dra ba skor / zhal nas phyung zhing lte bar zhugs te 'khor lo'i tshul gyis sangs
rgyas thams cad kyi thabs yid bzhin gyi nor bu lta bur rtogs pa sngags kyi rgyal po 'di
mtshan ma med pa'i tshul gyis zla bar bya'o //

de nas lus g-yo ba dang bcas par gyur pa la sogs par 'gyur ba'i rnal 'byor pa dad pa dang
/ snying rje dang / bla ma la gus pa dang ldan pas ni ring por mi thogs par 'gyur ro⁴⁴ // om
ma [nor bu 'dzin pa'i snying po] ṅi padme hūṃ zhes de ltar bzlas so⁴⁵ // de nas ldang ba'i dus su
yang sngags brjod par bya'o // yi ge brgya pa brjod par bya'o // de ltar bzlas nas ci bder
gnas par bya'o //

Yi ge drug pa'i sgrub thabs (N. 119a) slob dpon chen po dPal Mar me mdzad kyi mdzad
pa (G. 152b) rdzogs so // //

Jo bo rje lha gcig gis dpal gyi yer par mdzad //

III. Pūjavajra ॐ Āryṣaḍakṣarasādhana

(C. Nu 195b1-196a4, D. No. 2853, Nu 195a1-b5, G. Nyu 349b3-350b3, N Nyu
260b3-261a6, P. No. 3674, Nyu 227a2-b8)

⁴⁶*Phags pa Yi ge drug pa'i sgrub pa'i thabs* bzhugs so⁻⁴⁶

rgya gar skad du / Ārya Ṣa ḍā⁴⁷ kṣa ra sā dha nam /

bod skad du / *Phags pa Yi ge drug pa'i sgrub thabs* /

'jig rten mgon po la phyag 'tshal lo //

dang por re zhig sngags pas gdong bkruś nas stan bde ba la 'dug ste / sangs rgyas la
sogs par⁴⁸ bsams la / skyabs su 'gro ba la sogs pa⁴⁹ bya'o // bdag ni dkon mchog gsum la
skyabs su⁵⁰ song ba yin no⁵¹ zhes mos par⁵² byas nas / sems can ji snyed sems can du

⁴³ G: la la for la la la la.

⁴⁴ G: 'gyuro.

⁴⁵ G: bzlaso.

⁴⁶ CDGN om.

⁴⁷ C: ḍā, D: tā.

⁴⁸ GNP: pa.

⁴⁹ C: par.

⁵⁰ G: skyabsu

bsdu bas⁵³ yang dag par⁵⁴ bsdus pa⁵⁵ / sgo nga las skyes pa 'am / mngal las skyes pa 'am /
 drod gsher las skyes⁵⁶ pa 'am / rdzus te skyes pa 'am / gzugs can nam / gzugs can ma yin
 pa 'am / 'du shes can nam / 'du shes med pa 'am / 'du shes med 'du shes med min te / ji srid
 du sems can ni khams gsum du gdags⁵⁷ pas / btags pa de dag thams cad bdag nyid (G. 350a)
 kyis phung po lhag ma med pa'i dbyings su dgod par bya'o zhes bsam / de nas om swa bhā
 ba bi shuddhaḥ sarbba dharmāḥ⁵⁸ swa bhā ba bi shuddho 'ham / de nas stong pa nyid du
 bsdu bas sdus⁵⁹ pa tsam gyis bsgoms la / de'i 'og tu rang gi snying gar zla ba'i dkyil 'khor /
 de'i steng du yi ge hrīḥ las 'od zer brgya stong 'byung bar bsgoms te / yang de nyid kyis
 thog ma med pa nas bsags pa'i 'dod chags la sogs pa'i nyon mongs pa ma lus pa mtha' dag
 rnam par dag par byas nas bdag nyid kyis snying gar zhugs pa las / bdag nyid 'jig rten dbang
 phyug gi sku rgyan thams cad kyis brgyan pa / sku mdog dkar (P. 227b) po phyag bzhi pa
 (N. 261a) g-yas na bgrang phreng g-yon na padma bsnams pa / gzhan gnyis kyis thugs kar
 thal mo sbyar ba'o // g-yas su nor bu 'dzin pa sku mdog dang phyag la sogs pa yang de dang
 'dra'o // g-yon du 'bru drug pa'i rig pa⁶⁰ chen mo⁶¹ phyag bzhi pa ston ka'i sprin lta bu'o //
 de nas om ma hā su⁶² kha badzra sa twa / dzaḥ⁶³ hūm baḥ hoḥ⁶⁴ su ra ta stwaḥ / a la
 la la la ho // a a a zhes bya bas byin gyis brlabs pa'i sngags kyis rgyal po brjod (D. 195b) par
 bya'o //
 de ltar bsgoms nas de'i 'og tu 'jig rten dbang phyug gi thugs kar zla ba'i dkyil (C. 196a)
 'khor la phreng ba 'dra ba dkar po zhal nas byung zhing lte bar⁶⁵ byugs te 'khor lo 'khor ba'i
 tshul gyis sangs rgyas thams cad kyis yid bzhin gyi⁶⁶ nor bu'i rtog pa'i sngags kyis rgyal po
 'di mtshan ma med pa'i tshul gyis bzlas par bya'o //

⁵¹ G: yino.

⁵² GNP: pa.

⁵³ GNP: bsdus pas.

⁵⁴ D: dang bar.

⁵⁵ NP: la.

⁵⁶ D: ses.

⁵⁷ GNP: btags.

⁵⁸ GN: dharmā, P: dharma.

⁵⁹ CDP: bsdus.

⁶⁰ GNP: sngags.

⁶¹ C: po.

⁶² GNP: pu.

⁶³ GNP: dza.

⁶⁴ GNP: ho.

⁶⁵ P: par.

⁶⁶ GNP om.

de nas lus g-yo ba dang bcas pa⁶⁷ la sogs par gyur pa'i rnal 'byor pa dad pa dang snying rje dang / bla ma la gus pa dang ldan pas⁶⁸ ni (G. 350b) ring po mi thogs par 'grub par 'gyur ro // om ma ni padme hūṃ zhes de ltar bzla'o // de nas ldang ba'i dus su sngags 'di brjod par bya'o⁶⁹ // om badzra satwa sa ma ya / ma nu pā la ya / badzra satwa twe no pa tiṣṭha / dṛ ḍho⁷⁰ me bha ba / su to ṣyo me bha ba / a nu rakto me bha ba / su po ṣyo me bha ba / sarba siddhi mme⁷¹ pra ya tṣṭsha / sarba karma su tsa me / tsi ttaṃ shre yaḥ ku ru hūṃ / ha ha ha ha hoḥ / bha ga wān⁷² sarba ta thā ga ta⁷³ badzra mā me munytsa / badzri⁷⁴ bha ba / ma hā sa ma ya satwa aḥ⁷⁵ de ltar bzlas nas ci bde bar gnas par bya'o //

Yi ge drug pa'i sgrub thabs rdzogs so⁷⁶ // // slob dpon chen po Pū dza badzras mdzad pa'o // // rgya gar gyi mkhan po chen po⁷⁷ Dī paṃ ka ra shrī dznyā na dang / lo tsā⁷⁸ ba dge slong Shākya blo gros kyis bsgyur ba'o //

IV. Tshul khriṃs rgyal mtshan 訳 *Ṣaḍakṣarasādhana*

(C. Phu 173a7-174a5, D. No. 3150, Phu 173b2-174b1, G. Thu 268b2-269b6, N. Thu 202b2-203b4, P. No. 3971, Thu 214a2-215a5)

⁷⁹*Yi ge drug pa'i sgrub thabs rim pa* bzhugs so //⁷⁹

rgya gar skad du / *Ṣa ṭa kṣa ra sā dha na* /

bod skad du / *Yi ge drug pa'i sgrub thabs* /

dang por re zhig sngags pas bde ba'i stan la nye bar gnas te / gdong pa'i gtsang sbra⁸⁰ la sogs pa byas la / (C. 173b) rang nyid kyi snying ga'i zla ba la gnas pa'i yi ge hrīḥ dkar po las rnam par 'phros pa'i 'od zer gyis / bla ma dang sangs rgyas dang byang chub sems dpa' rnam mdun du bltas pas / legs par mchod cing gsum la skyabs su 'gro ba la sogs pa rnam

⁶⁷ GNP: par gyur pa.

⁶⁸ GNP: pa.

⁶⁹ GNP: pa'o for par bya'o.

⁷⁰ C: bho.

⁷¹ GNP: me.

⁷² GNP: ban /

⁷³ GNP om. sarba ta thā ga ta.

⁷⁴ GNP: badzri.

⁷⁵ G: aḥ.

⁷⁶ G: rdzogso.

⁷⁷ G om. chen po.

⁷⁸ GNP: tsa.

⁷⁹ CDGN om.

⁸⁰ CD: sgra.

bya ste / dkon mchog gsum la bdag phyag⁸¹ mchi / zhes bya ba la sogs pas so⁸² // ji srid du
 sems can du bsdu bar bya bas bsdus par gyur pa / sgo nga las skyes pa dang / mngal las
 skyes pa dang / drod gsher las skyes pa dang / rdzus⁸³ te skyes pa dang / gzugs can dang /
 gzugs can ma yin pa dang / 'du shes yod pa dang / 'du shes med pa dang / 'du shes yod pa
 yang ma yin 'du shes med pa yang ma yin pa ste / ji srid du gang 'ga' zhig sems can gyi
 khams su⁸⁴ gdags par bya bas btags⁸⁵ par gyur pa rnams / thams cad kyang bdag gis phung
 po lhag (G. 269a) ma med pa'i mya ngan las 'das pa'i dbyings su legs par dgod par bya
 ba'o⁸⁶ //

de nas om rang bzhin gyis rnam par dag pas chos thams cad rang bzhin gyis rnam par
 dag pa ni bdag yin no⁸⁷ zhes bya ba lan gsum (N. 203a, P. 214b) brjod par bya ba'o // de'i rjes
 thogs su⁸⁸ stong pa nyid yud tsaṃ cig dmigs par bya'o // de'i rjes thogs la snying gar padma
 dkar po'i steng du zla ba'i dkyil 'khor ro⁸⁹ // de'i steng du hr̥ṭḥ dkar (D. 174a) po'i rnam
 pa'o // de las⁹⁰ 'od zer 'bum phrag du ma kun nas 'phros par bsgoms la / des sems can
 rnams kyi yang thog ma med pa'i dus nas bsags pa'i 'dod chags la sogs pa'i nyon mongs pa'i
 tshogs rnams lhag ma ma lus par rnam par sbyangs te / slar yang de nyid la gzhug par
 bya'o // de yongs su⁹¹ gyur pa las bdag nyid 'jig rten dbang phyug gi gzugs su⁹² bsgom par
 bya ste / rgyan thams cad kyis brgyan pa sku mdog dkar po phyag bzhi'i g-yon pas padma
 'dzin pa / g-yas pa⁹³ phreng⁹⁴ ba 'dzin pa phyag gzhan dag gnyis kyis thugs kar thal mo
 kha sbyar nas gnas pa'o // phyag dang sku mdog de lta bu dang ldan pa dag gis nor bu 'dzin
 pa⁹⁵ / g-yas phyogs na padma gzhan gyi steng na gnas pa'o // g-yon phyogs na de kho na
 bzhin du yi ge drug gi rig ma chen mo (C. 174a) padma gzhan la gnas pa'o // de'i rjes la / om

⁸¹ GNP: skyabs.

⁸² GN: paso.

⁸³ GNP: brdzus.

⁸⁴ GN: khamsu.

⁸⁵ GNP: brtags.

⁸⁶ GNP: bya'o.

⁸⁷ GN: yino.

⁸⁸ N: thogsu.

⁸⁹ N: 'khor.

⁹⁰ CD: la.

⁹¹ N: yongsu.

⁹² N: gzugsu.

⁹³ GNP: pas.

⁹⁴ GNP: 'phreng.

⁹⁵ GNP om. pa.

rdo rje sems dpa' bde ba chen po dzaḥ hūṃ baṃ hoḥ⁹⁶ / dpa' bo khyod a la la la la hoḥ
(G. 269b) aḥ aḥ aḥ aḥ zhes bya ba byin gyis rlob⁹⁷ par byed pa'i sngags kyi rgyal po brjod
par bya'o //

de ltar bsgoms la de nas sangs rgyas thams cad kyi snying por gyur pa yid bzhin gyi nor
bur brtag par bya ba'i gsang sngags kyi rgyal po 'di bdag nyid 'jig rten dbang phyug gi
snying ga'i zla ba'i dkyil 'khor la kha dog dkar po phreng ba'i rnam par kha nas phyir byung
nas lte khung du legs par 'jug pa 'khor lo ltar⁹⁸ 'khor ba'i tshul du mtshan ma med pa'i
(P. 215a) rnal 'byor gyis blta bar bya'o⁹⁹ //

de ltar bzlas¹⁰⁰ (N. 203b) pa byas nas / g-yo ba dang gzhus pa la sogs pa 'thob¹⁰¹ ste /
dad pa dang snying rje dang ldan zhing bla ma la gus pa'i rnal 'byor pa ni dus ring po mi
thogs pa na 'grub par 'gyur ro¹⁰² // om ma ṇi padme hūṃ / bzlas pa'i sngags so¹⁰³ //

de nas langs pa'i dus na ni sngags¹⁰⁴ kyi rgyal po 'di brjod nas¹⁰⁵ langs par bya ste / om
badzra satwa sa ma ya / ma nu pā la ya / badzra satwa twe¹⁰⁶ no pa tiṣṭha / dṛ ḍho me bha
ba su¹⁰⁷ to ṣyo me bha ba / su po ṣyo me bha ba / a nu rakto me bha ba / sarba siddhi mme
pra yatstsha sarba karma su tsa me tsi ttaṃ¹⁰⁸ shrī¹⁰⁹ yaṃ / ku ru hūṃ ha ha ha ha hoḥ /
bha ga bān sarba ta thā ga ta badzra mā me munytsa badzrī¹¹⁰ bha ba ma hā sa ma ya
satwa¹¹¹ āḥ¹¹² de skad brjod (D. 174b) la ji ltar bde bar rgyu bar bya ba'o //

'Phags pa yi ge drug pa rig pa chen mo'i sgrub thabs rdzogs so¹¹³ // //

dge slong Tshul khriṃs rgyal mtshan gyis bsgyur ba'o // //

⁹⁶ P: ho.

⁹⁷ GNP: rlobs.

⁹⁸ GNP: om. ltar.

⁹⁹ GNP: bya ba'o.

¹⁰⁰ GNP: 'das.

¹⁰¹ GNP: thob.

¹⁰² GN: 'gyuro.

¹⁰³ N: sngagso.

¹⁰⁴ N: sngaḍ.

¹⁰⁵ GNP: la.

¹⁰⁶ N: te.

¹⁰⁷ GNP: so.

¹⁰⁸ GN: taṃ.

¹⁰⁹ GNP: shrī.

¹¹⁰ GNP: badzri.

¹¹¹ GNP: badzra satva.

¹¹² GNP: aḥ.

¹¹³ GN: rdzogsso.

V. Śrī Sahajalalita ᳚ Āryāvalokiteśvaraṣaḍakṣarīsādhana (1)

(C. Mu 26b7-27b4, D. No. 3332, Mu 24b7-25b4, G. Du 33a5-34a6, N. Du 28a5-29a4, P. No. 4153, Du 30b7-31b8)

rgya gar skad du / Ārya A ba lo ki te¹¹⁴ shwa¹¹⁵ ra sya ṣa ṭa a¹¹⁶ kṣa ra sā dha nam /
bod skad du / 'Phags pa sPyan ras gzigs dbang phyug gi yi ge drug pa'i¹¹⁷ sgrub pa'i¹¹⁸
thabs /

'jig rten mgon po la phyag (C. 27a) 'tshal lo //

dang por¹¹⁹ (D. 25a) re zhig sngags pas bde ba'i gdan la 'dug ste / (P. 31a) kha dag pa la
sogs pa byas nas sangs rgyas la sog pa bltas te yang dag par mchod nas / gsum la skyabs
su 'gro ba byas nas¹²⁰ / dkon mchog gsum la skyabs su mchi¹²¹ zhes bya ba la sog pa
bya'o // ji srid sems can thams cad kyi grangs su gtogs pa / sgo nga las skyes pa 'am / (N.
28b) mngal¹²² las skyes pa 'am / rdzus¹²³ te skyes pa 'am¹²⁴ / drod gsher las skyes pa 'am /
gzugs can nam / gzugs med pa 'am / 'du shes can nam¹²⁵ / 'du shes med pa 'am / yod min
med min gyi 'du shes la sog pa ji srid sems can gyi khams su¹²⁶ gtogs pa brjod pa de
thams cad bdag gis phung po lhag ma med pa'i mya ngan las 'das pa'i dbyingsu¹²⁷ gzhag
par bya'o // de nas om swa bhā wa¹²⁸ shuddhaḥ sarba dharmāḥ swa bhā ba shuddho 'ham
zhes bya ba lan gsum brjod la / yud tsam gyis stong pa nyid du bsgom par bya'o //

de nas rang gi snying gar padma dkar po'i steng du zla ba'i dkyil 'khor / de'i steng du
hrīḥ dkar po / de las 'od zer brgya stong phrag mang po byung bar bsams la / sems can
thams cad kyis thog ma med pa'i dus nas bsags pa'i 'dod chags la sog pa nyon mongs pa'i

¹¹⁴ D: ta.

¹¹⁵ C: sha.

¹¹⁶ GNP om. a.

¹¹⁷ GNP: ma'i.

¹¹⁸ GNP. om. pa'i.

¹¹⁹ CD: po.

¹²⁰ GNP om. nas.

¹²¹ P: 'chi.

¹²² C: medl.

¹²³ GNP: brdzus.

¹²⁴ P: pa dang.

¹²⁵ N: nam.

¹²⁶ GN: kahmsu.

¹²⁷ GN: dbyingsu.

¹²⁸ GNP: ba.

tshogs khams gsum du gtogs¹²⁹ pa dag par byas nas / yi ge de nyid rang gi snying gar bcug pas¹³⁰ / de yongs su¹³¹ gyur pa las bdag nyid 'jig rten dbang phyug gi gzugs / rgyan thams cad kyiis brgyan pa / sku mdog dkar ba / phyag bzhi pa / ral pa'i cod pan 'chang ba / g-yon pa padma bsname pa / g-yas kyiis¹³² bgrang phreng 'dzin pa / phyi ma'i phyag gnyis kyiis¹³³ snying gar thal mo sbyar zhing 'dzin pa / 'od dpag tu med pa'i (P. 31b) ral pa'i dbu rgyan can no // g-yas phyogs su¹³⁴ nor bu 'dzin pa / de dang 'dra ba'i mdog dang phyag dang mtshan ma can te / phyi¹³⁵ ma'i¹³⁶ phyag giis¹³⁷ thal mo (G. 34b) sbyar ba'o // g-yon phyogs su¹³⁸ yi ge drug pa'i rig pa 'jig rten dbang phyug dang 'dra ba'i sku mdog dang phyag mtshan bsgom par bya'o //

de nas om̄ ma hā su kha badzra sa twa dzaḥ hūm̄ bam̄ hoḥ / su ra ta stwaṃ a la la la la ho¹³⁹ / aḥ aḥ (C. 28a) aḥ aḥ zhes bya ba'i byin gyis brlab pa'i sngags brjod par bya'o //

(D. 25b) de ltar bsgoms nas 'jig rten mgon po'i thugs kar zla ba'i dkyil 'khor la phreng ba'i rnam pa lta bu'i dkar po zhal nas byung ste / lte bar 'jug cing 'khor lo 'khor (N. 29a) ba'i sbyor bas sangs rgyas thams cad kyi snying po yid bzhin gyi¹⁴⁰ nor bu rtog pa sngags kyi rgyal po 'di bzlas par bya'o // de nas 'khor zhing 'dug pa la sogs pa thob nas / dad pa dang snying rje dang ldan pa bla ma la gus pa'i rnal 'byor pas dus mi ring bar 'grub par 'gyur ro // om̄ ma ṇi padme hūm̄ zhes bya ba'i sngags bzlas par bya'o //

de nas ldang ba'i dus su¹⁴¹ sngags 'di brjod de gnas par bya'o // om̄ badzra satwa sa ma ya / ma nu pā la ya / badzra satwa twe no pa ti ṣṭha dr̄¹⁴² ḍho me bha ba / su to ṣyo me bha ba / su po ṣyo me bha ba¹⁴³ / a nu rakto me bha ba¹⁴⁴ / sarba siddhi mme¹⁴⁵ pra yatstsha

¹²⁹ GNP: rtog.

¹³⁰ G: pa.

¹³¹ GN: yongsu.

¹³² GN: kyi.

¹³³ GNP om. kyiis.

¹³⁴ N: phyogsu.

¹³⁵ GNP: dri.

¹³⁶ GNP: ba'i.

¹³⁷ G: gi.

¹³⁸ GN: phyogsu.

¹³⁹ GNP: hoḥ.

¹⁴⁰ GP: gyis.

¹⁴¹ G: dusu.

¹⁴² NP: dri.

¹⁴³ GNP: baḥ.

¹⁴⁴ NP: baḥ.

¹⁴⁵ GNP: me.

sarba karma¹⁴⁶ su tsa me tsi ttaṃ shre¹⁴⁷ yaḥ ku ru hūṃ / ha ha ha ha hoḥ bha ga bān¹⁴⁸
sarba ta thā ga ta badzra mā¹⁴⁹ me munytsa¹⁵⁰ badzrī bha ba ma hā sa ma ya sa twa āḥ¹⁵¹
zhes¹⁵² brjod la ji ltar bde bas gnas par bya'o //

yi ge drug pa'i sgrub thabs / dPal lHan cig skyes pa'i rol pas mdzad pa rdzogs so¹⁵³ //
paṅḍi ta Don yod rdo rje dang / khams pa lo tsā¹⁵⁴ ba dGe slong ba ris bsgyur ba'o //

VI. Śrī Sahajalalita ᳚ Āryaṣaḍakṣarīmahāvīdyāsādhana (2)

(C. Mu 72b1-73a6, D. No. 3405, Mu 70b1-71a6, G. Du 94a4-95a6, N. Du Du 81a2-b7, P. No. 4226, Du 89b2-90b4)

rgya gar skad du / Ārya Ṣa ṭa¹⁵⁵ kṣa rī ma hā bi dya¹⁵⁶ sā dha naṃ /
bod skad du / 'Phags pa Yi ge drug ma¹⁵⁷ rig pa chen po'i sgrub pa thabs /
'jig rten mgon po la phyag 'tshal lo¹⁵⁸ //

dang por re zhiḡ sngags pas stan bde ba la 'dug ste / kha bsang ba la sogs pa byas nas
rang gi snying gar zla ba la gnas pa'i hrīḡ yig dkar po las 'od zer 'phros nas bla ma dang /
sangs rgyas dang / byang chub sems dpa' rnam mdun du bltas te yang dag par mchod nas
gsum la skyabs su¹⁵⁹ 'gro ba la sogs pa bya ba ni / dkon mchog gsum la bdag skyabs mchi
(G. 94b) zhes bya ba la sogs pas ji srid sems can rnam dang / sems can gyi khongsu¹⁶⁰
gtogs shing bsdus pa rnam¹⁶¹ / sgo nga las skyes pa dang / mngal las skyes pa dang / drod
gsher las skyes pa dang / rdzus te skyes pa dang / gzugs can dang / gzugs med pa dang / 'du
shes can dang / 'du shes med pa dang / 'du shes yod min med min dang / gang yang cung

¹⁴⁶ GNP: karmā.

¹⁴⁷ GNP: shri.

¹⁴⁸ N: wān.

¹⁴⁹ GNP: ma.

¹⁵⁰ GNP: mundza.

¹⁵¹ P: aḡ.

¹⁵² P: zhes bya.

¹⁵³ N: rdzogso.

¹⁵⁴ GNP: tstsha.

¹⁵⁵ P: ḡa.

¹⁵⁶ GNP: dya.

¹⁵⁷ GNP: pa.

¹⁵⁸ N: 'tshalo.

¹⁵⁹ GN: skyabsu.

¹⁶⁰ GN: khongsu.

¹⁶¹ GNP om. rnam.

zad sems can gyi khongs su¹⁶² gtogs shing bgrang ba¹⁶³ de dag thams cad bdag gis phung
po lhag ma med pa'i mya ngan las 'das pa'i dbyings su¹⁶⁴ gzahag par bya'o //

de nas om swa bhā wa¹⁶⁵ shuddhaḥ sarba dharmāḥ¹⁶⁶ swa bhā¹⁶⁷ wa¹⁶⁸ shuddho 'ham
zhes lan gsum brjod par bya'o // de'i rjes su¹⁶⁹ skad cig gis (P. 90a) stong par dmigs shing /
de nas rang gi snying gar padma dkar po'i steng du zla ba'i dkyil 'khor / de'i steng du hrīḥ
yig¹⁷⁰ dkar po / de la 'od zer brgya stong dpag tu med pa 'byung¹⁷¹ bar bsams la / sems can
thams cad kyi dus thog ma med pa nas bsags pa'i 'dod chags la sogs pa'i nyon mongs pa'i
tshogs ma lus pa nam par dag par byas nas / slar yang de nyid la de bzhin du zhugs nas
gang de (N. 81b) nyid yongs su¹⁷² gyur pa las bdag nyid 'jig rten dbang phyug gi sku / rgyan
thams cad kyis brgyan pa / sku mdog dkar po phyag bzhi pa g-yon¹⁷³ padma bsams pa /
g-yas na bgrang phreng¹⁷⁴ bsams pa / phyag gzhan gnyis thugs gar¹⁷⁵ thal mo sbyar ba /
'od dpag med kyi ral pa'i cod pan can bsgom (D. 71a) par bya'o // g-yas phyogs su¹⁷⁶ nor bu
'dzin pa de dang sku mdog phyag mtshan mtshungs (C. 73a) pa padma'i nang gi steng du
gnas pa'o // de bzhin du g-yon du padma gzhan gyi (G. 95a) steng du yi ge drug ma'i rig
byed¹⁷⁷ ma chen mo 'jig rten dbang phyug dang 'dra ba'i sku mdog dang phyag mtshan
bsgom par bya'o //

de nas om ma hā su kha badzra sa twa¹⁷⁸ dzah¹⁷⁹ hūṃ baṃ hoḥ su ra ta stwaṃ / a la la
la la ho / aḥ aḥ aḥ āḥ¹⁸⁰ zhes bya bas¹⁸¹ byin gyis brlabs¹⁸² pa'i sngags kyi rgyal po brjod

¹⁶² GN: khamsu.

¹⁶³ C: bar.

¹⁶⁴ GN: dbyingsu.

¹⁶⁵ GNP: ba.

¹⁶⁶ G: sarbadha rmā.

¹⁶⁷ G: bha.

¹⁶⁸ GNP: ba.

¹⁶⁹ GN: rjesu.

¹⁷⁰ PN om. yig.

¹⁷¹ C: byung.

¹⁷² GN: yongsu.

¹⁷³ GNP: g-yon na.

¹⁷⁴ GP: 'phreng.

¹⁷⁵ NP: kar.

¹⁷⁶ GN: phyogsu.

¹⁷⁷ GNP om. byed.

¹⁷⁸ GNP: twaḥ.

¹⁷⁹ GNP: dza.

¹⁸⁰ P: ā.

¹⁸¹ GNP: ba'i.

¹⁸² GNP: brlab.

par bya'o // de bzhin du bsgoms nas de nas 'jig rten dbang phyug gi¹⁸³ thugs kar¹⁸⁴ zla ba'i
 dkyil 'khor gyi nam pa la bgrang phreng gi nam pa lta bu kha dog dkar po zhal nas
 phyung¹⁸⁵ ste / lte bar 'jug cing 'khor lo ltar 'khor ba'i sbyor bas sangs rgyas thams cad kyi
 snying po¹⁸⁶ rtog pa'i sngags kyi rgyal po yid bzhin gyi nor bu 'di mtshan ma¹⁸⁷ med pa'i
 sbyor bas¹⁸⁸ blta zhing de nas bzlas pa bya'o //

de nas 'khor zhing 'dzag pa la sogs pa thob nas dad pa dang / (P. 90b) snying rje dang
 ldan zhing bla ma la gus pa'i nral 'byor pas dus¹⁸⁹ mi ring bas dngos grub tu 'gyur ro // om
 ma ñi padme hūṃ zhes bya ba'i sngags bzlas par bya'o //

de nas ldang ba'i dus su sngags kyi rgyal po 'di brjod nas ldang bar bya'o // om badzra
 satwa sa ma ya / ma nu pā la ya / badzra satwa twe¹⁹⁰ no pa tiṣṭha dī¹⁹¹ ḍho me bha ba / su
 to ṣyo me bha ba / su po ṣyo me bha ba / a nu rakto me bha ba / sarba siddhi mme¹⁹² pra
 yatstsha / sarba karma¹⁹³ su tsa me / tsi ttaṃ¹⁹⁴ shre¹⁹⁵ yaḥ ku ru hūṃ / ha ha ha ha hoḥ /
 bha ga wān¹⁹⁶ sarba ta thā ga ta badzra mā¹⁹⁷ me munytsa badzrī¹⁹⁸ bha ba ma hā sa ma
 ya satwa āḥ zhes brjod nas ci bder gnas par bya'o //

Yi ge drug ma'i sgrub thabs / dpal lHan cig skyes pa'i rol pas mdzad pa rdzogs so¹⁹⁹ //

VII. *Āryaṣaḍakṣarīmahāvīdyāsādhana* (Bhattacharyya 1925: 26-28)

ādau tāvan mantrī sukhāsanopaviṣṭaḥ mukhaśaucādikam kṛtvā svahr̥ḍi candra-
 sthasitahr̥ḥkāravinirgatarāśmibhir gurubuddhabodhisattvān purato dṛṣṭvā sampūjya
 triśaraṇagamanādikam kuryād ratnatrayam me śaraṇam ityādinā / yāvantaḥ sattvāḥ

¹⁸³ C: gis.

¹⁸⁴ G: gar.

¹⁸⁵ GNP: byung.

¹⁸⁶ G: po'i.

¹⁸⁷ GNP: mtshams.

¹⁸⁸ GNP: ba.

¹⁸⁹ GNP: om. dus.

¹⁹⁰ G: te.

¹⁹¹ GNP: dri.

¹⁹² GNP: me.

¹⁹³ GNP: karmā.

¹⁹⁴ GNP: taṃ.

¹⁹⁵ GNP: shrī.

¹⁹⁶ NP: bān.

¹⁹⁷ G: ma.

¹⁹⁸ GNP: bhadzri.

¹⁹⁹ N: rdzogso.

sattvasaṅgrahaṇa saṅgrhītāḥ aṅḍajā vā jarāyujā vā saṁsvedajā vā aupapādukā vā rūpiṇo vā arūpiṇo vā saṁjñīno vā asaṁjñīno vā naivasamjñānāsamjñīno vā yāvat kaścit sattvadhātuḥ prajñāpyamānaḥ prajñāpyate sarve mayā anupadhiśeṣanirvāṇadhātu pratiṣṭhāpayitavyā iti tataḥ oṃ svabhāvaśuddhāḥ sarvadharmāḥ svabhāvaśuddho 'ham iti vāratrayam uccārayet / tadanu śūnyatām muhūrtam ālambayet / tadanattaraṃ svahṛdaye sitapadmopari candramaṅḍalaṃ tasyopari sitahrīḥkāraṃ tato niścaradanekaraśmiśatasahasraṃ dhyātvā tena sarvasattvānām aśeṣānādikālasaṅcitam rāgādikleśasamūham viśodhyante / tat punas tatraiva praveśayet / tatpariṇatam ātmānaṃ lokeśvararūpaṃ sarvālāṅkārahūṣitam śuklavarṇaṃ caturbhujam vāmataḥ padmadharaṃ dakṣiṇato akṣasūtradharaṃ aparābhyām hastābhyām hṛdi saṃpuṭāñjalisthitam dhyāyāt / dakṣiṇe maṇidharaṃ tadvarṇabhujānvitam padmāntaroparistham vāme tathaivāparapadmasthām ṣaḍakṣarīmahāvīdyām / tataḥ oṃ mahāsukha vajrasattva jah hūṃ vaṃ hoḥ suratas tvam / a la la la la hoḥ // āḥ āḥ āḥ āḥ ity adhiṣṭānamantrājam uccāyēt / evaṃ dhyātvā tato lokeśvarātmahṛdayacandramaṅḍalād akṣasūtrākāraṃ śuklavarṇaṃ mukhena nirgatya nābhau pravīśantaṃ cakrabhramaṇayogena imaṃ mantrarājam sarvabuddhahṛdaya-cintāmaṇikalpaṃ paśyed animittayogena / tato japaṃ kṛtvā bhramaṇapraveśanādikaṃ prāpyācireṇaiva kālena śrādhāḥ kṛpāvān gurubhakto yogī siddhyati /

oṃ maṇipadme hūṃ iti jāpamantraḥ / tata utthānakāle imaṃ mantrarājam uccāryottiṣṭet / oṃ vajrasattva samayam anupālaya / vajrasattvatvenopatiṣṭha / dṛḍho me bhava sutoṣyo me bhava / supoṣyo me bhava / anurakto me bhava / sarvasiddhiṃ me prayaccha / sarvakarmasu ca me cittaṃ śreyaḥ kuru / hūṃ ha ha ha ha hoḥ bhagavan sarvatathāgatavajra mā me muñca vajrībhava / mahāsamayasattva āḥ / evaṃ uktā yathāsukhaṃ vihared iti /

// āryaṣaḍakṣarīmahāvīdyāsādhanam //

参考文献

Bhattacharyya, Benoytosh. *Sādhanamālā*. Vol. 1. Baroda: Central Library, 1925.

Eimer, Helmut. *rNam thar rgyas pa: Materialien zu einer Biographie des Atiśa (Dīpaṅkaraśrījñāna)*. 2 vols. Wiesbaden: Otto Harrassowitz, 1979.

Imaeda, Yoshiro. "Note préliminaire sur la formule *oṃ maṇi padme hūṃ* dans les

- manuscrits tibétains de Touen-Houang,” Michael Soymiee ed., *Contributions aux études sur Touen-Houang*. Geneva and Paris: Librairie Droz, 1979.
- Roerich, George N., *The Blue Annals*. Repr. Delhi: Motilal Banarsidass, 1979.
- Makidono, Tomoko. “Nāgārjuna's six-syllable mantra *om maṇi padme hūṃ* in the bsTan 'gyur : A Text and a Translation of the *Āryavalokiteśvaraṣaḍakṣarasādhana* (*'Phags pa 'jig rten dbang phyug yi ge drug pa'i sgrub thabs*),” *Acta Tibetica et Buddhica* 4: 1-21, 2011.
- Sakuma, Ruriko. *Sāadhanamālā: Avalokiteśvara Section*. Delhi: Adroit Publishers, 2002.
- Skilling, Peter. “An Oṃ Maṇipadme hūṃ Inscription from South-East Asia,” *Aséanie* 11: 13-20, 2003.
- Studholme, Alexander. *The Origins of Oṃ Maṇipadme Hūṃ: A Study of the Kāraṇḍavyūha Sūtra*. Albany: State University of New York Press, 2002.
- 木村高尉「六字真言をめぐって : *Ṣaḍakṣarī-mahavidyā-rājñī*」『豊山教学大会紀要』15: 1-11, 1987.
- 佐久間留理子『インド密教の観自在研究』山喜房佛書林, 2011.
- 佐久間留理子『観音菩薩』春秋社, 2015.
- 羽田野伯猷『チベット・インド学集成 第一巻 チベット篇 I』法藏館, 1986.
- 望月海慧「アティシャに帰される秘密集会タントラ関連の文献について」『宗教研究』84-4: 322-323, 2011.
- 望月海慧「Dīpaṃkaraśrījñāna に帰される秘密集会タントラ関連の文献について(2)」*Acta Tibetica et Buddhica* 5: 91-150, 2012.

(平成 30 年度科学研究費「グプタ朝以降のインド仏教の僧院に関する総合的研究」[基盤研究(A), 18H03569, 代表: 久間泰賢] による研究成果の一部)